

まだまだ酷暑が続く中、8月24日が今年の2学期の始業式でした。生徒の皆さんの元気な顔を見られて、とてもうれしかったです。この日差しを浴びて、今年の稲穂も大きくなり始めました。暑さにも決して枯れず、その生命力を伝播させてくれます。さあ、心と体を大きく伸ばす時です。

組もう“スクラム” つながろう“連帯”

最近、「コロナ禍」と呼ばれることが多くなりました。「禍」は「災い」や「災難」等を意味する言葉で「コロナ禍」とは、新型コロナウイルスが招いた災難や危機的状況を指し、新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化する中、マスコミ等でもよく見かけるようになりました。

では、現実に何が「災難」なのでしょう。病気が重くなることはもちろん「災難」ですが、みなさんに考えてほしいことは“新型コロナに対する偏見や差別”です。各地のニュースは感染者等へのひどい誹謗中傷の行動と、優しさや思いやりを欠いた人間の姿も伝えています。「コロナウイルスよりも人間の方が怖い」この言葉は何を意味しているのでしょうか。

ある詩の言葉を「コロナ禍の時代」と置き換え、改編したものを紹介します。

隙間のない世界

「どうしよう!」「私じゃない!」	だから、決めただ
「来るな!」「近寄るな!」	僕らは 体をぴったり寄せて
僕の頭上を行き交う言葉	隙間のない世界を創り出す
僕の静かな決意の上を	眩しいくらいの世界を創り出す
捻伏せよう行き交う言葉	僕らは「コロナ禍の時代」を生きる
罵声の渦の中で	
僕は石になって考える	今、目の前に 心の闇がいる
僕らは「コロナ禍の時代」を生きる	僕のスタートを
	阻もうとする闇がいる
歴史の上にはいつも心の闇が見える	僕と仲間のわずかな隙間に
人と人の隙間から	入り込もうとする闇がいる
そっと出てきて、振り返る	「ネットにいろいろある!」「それ本当?」
やさしい言葉をささやきかけて	「みんな言ってる!」「みんなって 誰?」
隙間を 大きく広げていく	僕らは ピッタリ体を寄せる
僕らは「コロナ禍の時代」から知った	僕らは 一層 体を寄せる
その闇の仕業を	僕らは 「コロナ禍の時代」を生きる

嘉穂中人権基本法は、今こそ大事にされなければなりません。嘉穂中学校が本当にやさしい学校でありますように、新型コロナ差別をしないこと。それをみんなで約束しましょう。

英語単語コンクールが行われました

1学期の終業式で大里心愛生徒会長は「頑張ったのは生徒だけではありません。十分な感染症対策を行い、完全ではないものの学校生活を送れたり、大会に出られたりしたことは先生方をはじめ、たくさんの方の働きかけがあったからこそです。次は私たちが感謝の気持ちを胸に夏休みを過ごすべきだと思います。」とあいさつをしました。皆さんの夏休みはどうでしたでしょうか。

そこで、1学期最後に実施された英単コンクールを振り返ってみましょう。

目標を達成できたのは **2年1組** **2年2組** **3年1組** **3年2組** の4学級でした。大屋健太郎学習専門委員長から表彰状を渡されています。どうぞ、教室に掲示して目標達成までの学級の取組を振り返り、次回への励みとしてください。

残念ながら1年生はどの学級も目標達成ができませんでした。原因は何だったのでしょうか。「次こそは」に向けて改善しないといけないことは何でしょうか。こちらでも真剣な振り返りと次への取組が必要です。

まずは、9月1日の3年生実力テスト、1・2年生課題テスト。ここで夏休みの学習の成果を見せましょう。

【大屋委員長から表彰状を受け取る学習委員たち】



9月の学校行事について(変更の可能性もあります)

- 9月 1日(火) 3年生実力テスト 1・2年生課題テスト
- 10日(木) PTA評議員会 19:00
- 12日(土) (嘉飯)新人陸上大会
- 16日(水) 3年生IBAテスト PTA補導委員会あいさつ運動
- 18日(金) 学校関係者評価委員会
- 18日(金) 稲築志耕館高校体験入学(3年)
- 24日(木) 1・2年生福岡県学力調査(国・数)
- 24日(木) 嘉徳総合高校体験入学(3年)
- 24日(木) 2年生SDGsを考える学習会
- 25日(金) 嘉徳東高校体験入学(3年)
- 26日(土) 嘉徳高校体験入学(3年)
- 26日(土) (筑豊)新人陸上大会
- 26日(土) (嘉飯)新人野球大会 ~27日(日)

